

[熊本 S.J.C.D.例会 抄録]

演 題 透明シリコーン材 (MEMOSIL2) を用いた臨床応用法

演者名 津田 佳輝 (D T)

日 付 2009年8月25日 (火)

Key word MEMOSIL2
シンフォニー
ロカテックシステム
シランカップリング処理

抄 録

多くの患者に審美歯科の技術が認知され、歯科医院としての技術も高いレベルでの処置が当然という流れになってきている。単に見た目が美しいというだけでは患者の満足を得る事はできないし、治療終了直後だけでなく永続的にその美しさ、機能を維持する事が医療行為といえるであろう。それらを達成するためには、適切な診断と治療計画に加え、客観的な再評価が不可欠である。

しかし、それらの条件を満たしながら日々の臨床の場を過ごしていく事は、膨大な時間とタフな精神力が必要である。一技術者として各研修会、学会参加等スキルアップのための努力は不可避であるが、一方、年齢的にも一般社会への貢献も避けては通れないものである。これらの忙しい状況から何とか脱しなければならぬ、というところがこの方法にたどり着いた最初の動機であったと思う。つまり、「仕事の途中の過程はどうでもいい、いかにして効率的にゴールに辿り着くか」という1点にあったと思う。言い方を代えれば、「いかに楽をして、しかも結果を出すか」という事である。

今回、日常当医院で行っている症例のなかで、透明シリコーン材 (ヘレウス・クルツァージャパン社 MEMOSIL2) を用いたプロビジョナルレストレーションの作製法、ガム模型の作製法、直接法・間接法での応用法等について、「技工室での応用」と「診療室での応用」に分けて述べさせていただきます。